

令和3年度 第1回久留米市立図書館協議会 会議録（要旨）

- 1 日 時 令和3年10月22日（金）午後2時00分～2時45分
- 2 会 場 久留米市立中央図書館 3階会議室
- 3 出席者 田住会長、梅野副会長、荻野委員、檜橋委員、佐野委員、高松委員、松浦委員、鳥越委員、稲益委員、富田委員、井上委員、段委員、永利委員、遠山委員
（欠席者：永松委員、富田委員、松井委員）
- 4 事務局 中山館長、白谷主幹、臼井司書主幹、甲斐田補佐、野林補佐、佐々木主査、中園
- 5 次 第
開会、委員・事務局紹介、会長選出（田住会長選出）、就任挨拶（会長）、
会議成立報告
- 6 議 事
（1）令和2年度久留米市立図書館実績報告
（2）令和3年度久留米市立図書館運営方針及び事業スケジュール
（3）その他
次回図書館協議会について

～ 質 疑 応 答 ～

○令和2年度久留米市立図書館実績報告について

- 委 員：① 資料1の5ページの新規施策として「市立図書館・学校図書館情報交換会」を行ったとあるが、コロナ禍での活動についてどのような意見が出されたのか。
- ② 資料1の6ページ「令和2年度福祉宅配サービスの利用状況報告」について、コロナ禍では在宅での読書が増えたと思われるが、その状況を教えて欲しい。

事務局：① 「市立図書館・学校図書館情報交換会」についてご説明したい。

田主丸図書館、三潴図書館は3年位前から学校との情報交換会を行っていたが、令和2年度は初めての取り組みとして、市内6つの図書館がその地域の学校と情報交換会を実施した。その内容としては、コロナ禍の学校でどのような取り組みを行っているか、また、市立図書館ではどのようなことを行っているのかなどを意見交換した。やはり何といたってもコロナは初めての経験だったので、子どもたちを集めての事業が難しいという意見が多かったが、「コロナ禍でも学校では読書祭りの中でしおりコンテストを開催した」などの意見もあった。

今年は、コロナ禍2年目であり、取り組み内容も変わってきていると思うので、

さらなる取り組みについて話し合える場にしたいと思う。

事務局 : ② 図書館要覧 (2021) の 29 ページ(7)宅配利用をご覧いただきたい。令和 2 年度は貸出者数 38 人、貸出冊数 233 冊で以前より増えている。

委員 : 資料 1 の 1 ページ、田主丸館、城島館、北野館、三瀨館の地域館の蔵書数の推移について、令和元年から令和 2 年度の蔵書数があまり増えていないようだ。除籍を行っているからか。

事務局 : 地域館に関しては、除籍をしているためにこのような冊数となっている。

○令和 3 年度久留米市立図書館 運営方針及び事業スケジュールについて

委員 : 資料 2 の 1 ページ、令和 3 年度の図書館の運営方針に、久留米広域連携中枢都市圏における電子図書館の共同運用検討のためのワーキンググループを設置とあるが、共同運用はいつ頃開始予定なのか。

事務局 : 電子図書館の運用の検討については、本年 5 月にワーキンググループを立ち上げ、第 1 回目の会議を開催。電子図書館の必要性とメリット・デメリットについて情報を共有した。導入費や維持費に、ある一定の金額がかかるため、共同運営の検討を始めたところである。現時点では、広域連携都市の方々にメリット・デメリットを理解いただいたうえで、改めて共同で参画するかどうか確認をお願いしている。導入の可否については、来年度以降に検討していく。

○その他

事務局 : 次回の図書館協議会は、来年 2 月頃を予定している。

委員 : 今まで、捜査機関の方から個人情報の提供依頼であるとか、何か要望があつて、実際に個人情報を渡したというようなことはあるか。

事務局 : 今のところ、そういった状況は発生していない。